



校長室だより

3学期、心に残った3つのエピソード



新型コロナウイルス予防を心がけながら、大事な3年生の受験に向けて全校で積み重ねてきた日々も、いよいよ明日の卒業式1日を残すだけとなりました。この様な中、今年度最後の終業式は体育館に全校が集まって行い、そこで3学期を振り返って次のような話をしました。

「あなたの中学校の自慢できることは何ですか？」

おはようございます。冬休み明けから今日までの約3ヶ月、登校日数48日間の3学期も、いよいよ明日の卒業式を残すのみとなりました。3学期は新型コロナウイルス第3波拡大から始まった学期でしたが、3年生の高校入試に向けて、何とか受験体制を整えることを第1に考え過ごした約3ヶ月となりました。全校の皆さんや保護者の皆さん、先生方の協力のおかげで、今日まで中込中では感染が起らず、公立後期受験も無事終えることができました。日々の生活で不自由なことも沢山あったと思いますが、みんなで乗り越えて来られたこと本当に嬉しく思います。さて、3学期を振り返ってみると短い期間でしたが、心に残った出来事が沢山ありました。今日はその中のエピソードを3つ話したいと思います。

1つ目は3年生の受験についてです。先週3月9日、10日に行われた公立後期選抜まで、この3か月間で、推薦入試、私立高校入試、公立前期選抜入試と何回かの入学試験が行われました。この様な中、私が3年生と直接関わることができたのは、各入試での面接練習の場面でした。私のところへは約30人ほどの3年生が面接練習を申し込みに来てくれました。1月下旬から3月上旬まで何日かにわたって、早い日は朝7時半から、遅い日は夕方5時過ぎまで面接練習を行いました。どの人も自分の思いや願いをしっかりと述べ、また、礼儀や挨拶などの所作もきちんと出来ていました。この様に入試に向けての準備をすすめる中で、将来に渡って役立つ大切なことを学んでいると感じました。更に入試が終わった後、そしてそれぞれの合格発表が終わった後に、わざわざ校長室を訪ねて、お礼を述べてくれる人が何人もいました。高校入試という大きな壁を乗り越えるなかで、その人自身が一回り成長した姿を目の当たりにし、大変嬉しく、また、頼もしく思いました。



この様な3年生のSさんとの面接後のエピソードです。Sさんとは2回面接練習をしたのですが、入試が終わった翌日会ったSさんに「昨日はどうでしたか？」と尋ねると「何とか答えられました」と話してくれました。続けて「どんなことを聞かれましたか？」と尋ねるといろいろな質問されたことを教えてくれたのですが、その質問の中に「あなたの中学校の自慢できることは何ですか？」という質問があったそうです。興味があったので「それで何て答えましたか？」と尋ねると「えーと、先生が優しいことです」と答えたそうです。私は思わず笑顔で「good!」と言い、「いいねポーズ」をしてしまいました。中込中の自慢は沢山あるかもしれませんが、その中で「先生が優しいこと」をいちばんにあげてくれたことに、彼女自身の優しさと温かさ、そして先生方の日々の対応のありがたさを感じました。

2つ目は、昨日行われた「3年生を送る会」です。昨年は休校中のため開催出来なかった「3送会」を2年生新役員の皆さんが中心となってゼロから企画し運営した初めての大きな学友会行事でしたが、本当に心温まる素敵な時間になりました。今年度の3年生だからこそ、あのような素敵な贈る言葉や出し物を各学年からプレゼントされたのだと思います。卒業生から在校生への絆がより深く、太く結びつながら、新たな伝統になった素晴らしい「3年生を送る会」になりました。



【今年は実施できた<三送会>】

最後3つ目は3学期始業式で話した3学期のキーワードの事です。3学期のキーワードは「挨拶」でした。様々な出来事があった3学期でしたが常に「挨拶」を意識しながら生活できたでしょうか。先日3年生の放課後学習最終日に、毎回教えに来てくださっているボランティアの先生から、「廊下ですれ違った時に、元気よく挨拶してくれてとても気持ちがいいですね」「帰り道でもさようならと声をかけてくれますよ」という言葉をいただきました。来年度に繋がる素敵なお話を聞かせていただき大変嬉しくなりました。

さて、明日の卒業式は昨年は実現できなかった在校生も参加する全校参加の卒業式になります。今までの準備の成果を発揮して、今年ならではの3年生にとって一生に一度の心に残る素晴らしい卒業式を創り上げましょう。そして、明後日からの春休みでは、気を抜かずコロナ感染予防を心がけながら、4月からの生活に備え準備をしっかりとしましょう。家の方や地域の方々と、仲良く、安全に楽しく過ごしてください。4月の入学式には、また、今日のような元気な顔で、それぞれ新たな場所に集まりましょう。以上で3学期終業式の話を終わりにします。

今年1年を振り返ってみると、刻々と変わるコロナ対応に迫られ、みんなで悩み話し合いながら判断する日々を積み重ねていった1年間でした。何が正解かわからない「問い」に、何らかの方向を決めていかなければならない難しさを身にしみて感じた1年でもありました。この様な中でも、生徒達は確実にピンチをチャンスに変え、たくましく成長していったと先週配布されたPTA広報誌「まなびぼし」を読んで改めて感じました。

コロナ禍はまだ続きそうですが、今年度の反省を生かし、4月からの新年度へ繋げていきたいと思っております。保護者の皆様には1年間中込中へのご理解ご協力本当にありがとうございました。また、来年度も引き続きご支援をよろしくお願い致します。(文責：大西孝一)

佐久市立中込中学校

*ご意見、ご要望、お問い合わせ
などは、下記までお寄せ下さい。

TEL 0267-62-0725

Fax 0267-62-2876